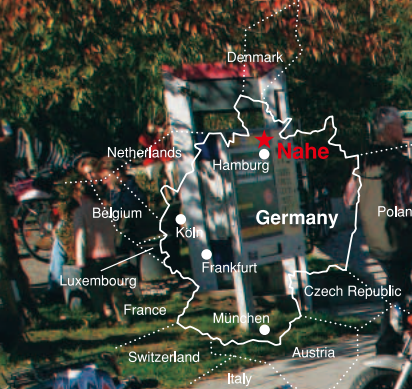


THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
vol.7
Nahe Germany

ドイツ流 4MINI 楽しみ方の 極意!



■SHOP : Hot Shot Monkeys (<http://www.hot-shot-monkeys.de>)
■PHOTO&REPORT : Tsuyoshi Chiwa
■TRANSLATION : Keizo Kagaya(KA-HA-TradingGmbH)
■SPECIAL THANKS : C.F.POSH(Tokyo&Osaka)

ドイツ北部の街、Nahe(ナーエ)の4MINIショップ、ホットショットモンキーズで30台ほどの撮影会となったのは前回(5月号)ご紹介した。そんな撮影会の後は「昼メシ焼けてるぜ〜」というワケで、ホットショットモンキーズの庭先でパーベキュー。すると今度は「腹イッパイか? ちょっと流しに行こ〜ぜ〜」というワケで、プチツーリングも体験。食べて走って、ドイツ流の4MINI遊びを満喫する取材となったのだ。

8インチ仕様

モンキーが人気です!

THE 4MINI WORLD SURPRISING DISCOVERY vol.7 Nahe Germany

MACHINE Monkey OWNER Jan (ヤン)



B77は走りもイイです!

ナイス110のエンジンを123ccにして搭載。前後B77タイヤでフロントフォークのアウトチューブはNSR50用に見えるが、ノーマル風のライトステーやトップブリッジが装備されている点が注目。

よく走るエンジンで街乗りもパツチリ楽しんでるというヤンさん。タイヤは日本でも手に入るB77(8インチ)が採用され、グリップ力も上々で気に入っている。



前後タイヤはノーマルだが、ナイス110エンジンは176cc化されデイトナ製4バルブヘッドも搭載。足周りもスイングアームやフロントフォークを変更し、極めつけは車体左側に配されたマフラーエンド。

MACHINE Monkey OWNER Hubert (フーバート)



じつは左出しマフラーです



▲自作のスエード製シートがイイ味出しています。けっこう年配のオーナーですけど、「いつも走りに行ってるよ」と元気イッパイ! 4MINIファンは国も超え、年齢もボーダレスな時代です。

MACHINE Monkey OWNER Bjoern (ビヨーン)

自作タンクが自慢

ナイス110エンジンを176ccにして搭載。SP武川製スーパーヘッド+RやSP武川製マフラーをチョイス。自慢は自作でペイントしたグレーのタンク。



175cc仕様 Gクラのスイングアームが自慢



▼マフラーはドイツで人気のデイトナ製。テールエンドをワンオフ加工し、フタができるようになっているのが特色。



Gクラフト製スイングアームが自慢。ナイス110エンジンを搭載し、175ccに排気量アップ。前後タイヤは8インチとし、ホワイトとオレンジのカラーリングが目立ってクール。

▲ステンレス製のフタができるワンオフテールエンドはドイツ4MINIカスタムの定番。キツめのクリアランスで設計されているので、閉めて走ってもカタカタ音がすることはないのだ。

MACHINE Monkey OWNER Lars (ラース)



◀ブロームさんの奥様。とにかく焼いて食べる。ドイツはメシがマズいなんて話をよく聞くけど、地元の方が勧めるものはどれもウマかった。建物や庭がカワイイ雰囲気ですよ。



自宅兼SHOPのパーキングでバーベキュー。休日ともあって、30人くらいの4MINIファンが駆けつけてくれたのだ。



HOT SHOT MONKEYSのDirk Blohm氏(40歳)。当たり前だけど、ナイフとフォークの使い方がカッコいいんだよ、むしろの人は。

MACHINE DAX OWNER Michael (ミハヤエル)



BARBECUE LUNCH

お〜いみんな! 昼メシ 焼き始めるぞ〜!

ナイス110エンジンにスワップし、デイトナ製DOHCヘッドや前後10インチアルミホイールが装備されたDAXには、なんと牽引フックが装備されており、パーティー用のオーディオシステムなどが内蔵されたキャリアカーを牽引できるようになっている。もちろんウイスキーはキャンプで泊まった時に飲むぞうです。

ホットショットモンキーズは、オーナーのブロームさんの家の敷地内にある。つまりそれだけ大きな敷地ってワケなんだけど、その大きな庭でバーベキューとなった。隣にはSHOPがあり、SHOP内で4MINI談笑する人あり、庭で食べる人、夕方帰るつもりでビールを飲んでる人、取材班もとても楽しいひと時を過ごせました。

の4MINIも用意してくれた。食後のツーリングだ。超パワフルなナイス110エンジンが積まれたモンキー改でカッ飛ばす。一直線に続く平坦な道。ドイツ南部は丘陵地帯が多く、アップダウンが激しいため、トルクのある2バルブが人気で、北部は平坦な直線が多いから4バルブが人気」という言葉を思い出す。

急にリヤタイヤ付近から衝撃が走り、マシンが止まった。見るとリヤのスポロケットが外れている。先頭を走っていたブロームさん達が戻ってくる。「あーあ、でも大丈夫! 4本のフロントディスクローターのボルトを1本、隣のボルトを1本としようよ」、4本のボルトを調達。すぐにツーリングは再開した。

途中、ブロームさんが隣に来てウイリーを披露する。左手でカメラを持ち、シャッターを押す。フルフェイスをかぶっているのでフェイスガードが覗けない、カンでカメラの向きを決める。そのまま休憩ポイントまで走りきる。走りながら左手で一眼レフを使ったのは始めてだ。

ちょっとした観光地のようなアイスクリーム屋で休憩したあとは、流れ解散。「ま〜たね〜」みたいな感じでみんな帰って行く。その日の夕方、「あのへん走ったのかな?」と、帰国便の中から緑色の大地を見ていた。ほんと、ドイツの4MINIフリークは贅沢な楽しみかたをしている。でもそれは4MINIが魅力的なアイテムだから実現するんだよ。

ドイツのバーベキューはとってもシンプルだ。ウインナーや肉を焼いて食べる。それだけだ。でもなぜかとてもウマイ。笑顔な4MINIフリークと一緒に走らさうか? 快晴で気温も暖かく、静かで自然がたくさんある。言うことなしだ。ブローム氏がニコニコしながら近寄ってくる。「おなかイッパイか?」「ならショット走りに行こう」「オマエにはコレを貸してやる」との輪廻

SHOPに戻ってみると、いつの間にかバーベキューの準備が整っている。DAXが牽引していたリヤカーには、オーディオが搭載され、ウイスキーのボトルも固定できるようなシクミになっている。いつもこんな贅沢な休日を通っているのだろう。

ドイツのバーベキューはとってもシンプルだ。ウインナーや肉を焼いて食べる。それだけだ。でもなぜかとてもウマイ。笑顔な4MINIフリークと一緒に走らさうか? 快晴で気温も暖かく、静かで自然がたくさんある。言うことなしだ。ブローム氏がニコニコしながら近寄ってくる。「おなかイッパイか?」「ならショット走りに行こう」「オマエにはコレを貸してやる」との輪廻

集まってくれた車両を撮影するために、近くの大型スーパーマーケットに移動した。定休日なので広大な駐車場を自由に使って撮影できる。予想より台数が多かったため、フィルムが足りる心配だったが、なんとカメラ撮影は終了。すると「昼メシが出来てるから帰ろう」と呼ばれる。

SHOPに戻ってみると、いつの間にかバーベキューの準備が整っている。DAXが牽引していたリヤカーには、オーディオが搭載され、ウイスキーのボトルも固定できるようなシクミになっている。いつもこんな贅沢な休日を通っているのだろう。

MACHINE DAX
OWNER Volker (ホルカー)



▲OVER製マフラーのサウンドアジャスト機能もドイツでは大人気です。OVERから新発売になった4段階にサウンドを調整できるアジャストシステムも間違いなく流行るだろ〜な〜。

サウンドアジャスト付いてます!

ナイス110エンジンは176ccでSP武川製スーパーヘッド+Rを装備。前後タイヤは10インチ化され、Gクラフト製スイングアームやアンダーフレームの追加などで安定性も確保。

速すぎるとこ好きです

ナイス110の176cc仕様、SP武川製スーパーヘッド+R仕様は「速すぎるところが好き!」とお気に入り。前後タイヤは8インチのままとし、デイトナ製マフラーをテールエンドの改造ナンで装着。

▶このナンバープレートは50cc以上の車両用で、これだと高速も利用できます。実際、取材班も4MINIでアウトバーンを体験しました。チト怖かったッス。

MACHINE Monkey
OWNER Mathers (マティアス)



国籍、年齢関係なし!

MACHINE CRF50
OWNER Saschr (ザッシャー)



50ccベースは貴重です!

MACHINE Gorilla
OWNER Udo (ウド)

高レア度のゴリラも登場

今回、1台だけの参加となったゴリラ。176cc化されたナイス110エンジンを搭載し、ファディーバイク製マフラーやカラーリングのセンスに脱帽。こういう高齢なライダー、ナメちゃいけません、一瞬でブチ抜かれたりします。

THE 4MINI WORLD SURPRISING DISCOVERY vol.7 Nahe Germany

このマシンだけはナイス110エンジンではなく、50ccをベースにSP武川製パーツで88ccとなっています。

◀小さめで赤い文字のナンバーは50cc用。時速45km/hまでの最高速度車両なら日本同様、16歳から乗れるんです。



4MINIは地球規模で楽しまれてます!

トラブル発生!



◀なんの輪の乗ってたモンキーの、スプロケットが外れた! 転倒しなかったけど、ボルトがなくなってるから直せるかな〜って不安だったけど、4本あるディスクローターの1本を外して、同様に4台からボルトを調達して修理OK! こんなトラブル、よくあることみたいッス。

とりあえず満タン!

▲ドイツのガソリンスタンドはBenzinとSuperPlus、Super、Dieselなどが選べます。ちなみにコンビニがほとんどなく、夜8時以降くらいはお店がほとんど閉まってしまうので、ジュースやタバコなど、ちょっとした物はガソリンスタンドじゃなきゃ買えなくなるんです。

MACHINE Baja
OWNER Dirk Blohm (ディルクブローム)

このパワーステアーよね!



▲前後8インチ、バンバンウイリーしちゃうナイス110エンジンは176cc仕様でデイトナ製DOHCヘッドを搭載。走りの方も、かなりキレてます。

▶ホットショットのオーナー、ブローム氏が高速ウイリー。けっこうスピード出て、タイヤは小径だし、ブロームさんのデクはかなりのもの。ところで、写真がフレームからハミ出てるのはご容赦ください。なんせ、一眼レフを左手に持って、走りながら撮影してるもんで。

「腹イッパイか?」
「なら、流しに行こ〜ぜ!」



街から森へ!

バーベキューを食べてたらツーリングに誘われました。天気もイイし、道は広くて空いてるし、景色も最高! もちろん国際免許持ってますから、無免許運転じゃないですよ〜。

◀街を出て15分も走ると、こんな森の中に入っていきま〜す。ひんやりしてて空気が澄んでる。「最高です!」

TOURING

バイクが文化に根付くヨーロッパ そこで認められた4MINI

モトクロス系のXR70を前後10インチ化し、さらに前後ディスク化。エンジンはナイス110改の176cc仕様を搭載し、走りもパワフル。

▶スイングアームをレッドにペイントしている点が自慢。エンデュランス製マフラーが大きなナンバープレートの上に配される。



ファットな
10インチです!



MACHINE XR70
OWNER Behnd (ベアアート)

XRをディスク化&
10インチ

MACHINE Monkey
OWNER Frank
(フランク)



MACHINE Monkey
OWNER Ralf (ラルフ)

123cc仕様のナイス110エンジンを搭載し、フロントに100/80-10、リヤに130/70-10サイズを装備。マフラーとシートの間にはレザーバッグが装着され、収納スペースが小さいモンキーの使い勝手を向上。

ブラックがシブい8インチの前後ディスク仕様。ナイス110エンジンを117cc化して搭載している。また、ブラックの車体に統一感のあるシブさを加えるヨシムラ製サイクロンがお気に入りだという。



HOT SHOT MONKEYS

ドイツ北部の超有名SHOP オリジナルパーツも多数の本格派

ドイツ北部の大都市、ハンブルクからクルマで1時間くらいにあるナーエという街。その住宅街にホットショットモンキーズがある。22年間もモンキーと接してきたブロームさんが従業員3人とともに経営する4MINI専門店。12歳から60歳という幅広い客層を持ち、40種類以上というオリジナルパーツも販売している。ちなみにダブルディスク用キャリアは日本でもABCから発売予定。一声かければ4MINIファンが100台あつまるといふ、カリスマSHOPなんです。

◀最高の風景とうまい食べ物、そこに笑顔な仲間と大好きな4MINIがあったら、なんの文句もありません。今回はドイツ流の4MINI遊びを満喫させてもらって、ホント〜に感謝です。ダンケシェーン!

▶ホットショットモンキーズは、このアタリを左折した場所です。けっこうわかりにくいでしょ?

Hot Shot Monkeys
Segeherger Strasse 47 23866 Nahe DE
<http://www.hot-shot-monkeys.de>



テクだよ
テク

オマエの
バイク
速いな

▲4MINIを停めて、いろんなハナシをする。世界共通ですね〜、こういう風景って。

TOURING

▲交差点に4MINIが10台くらい。って、広すぎじゃない? 交差点でレースできそうな気がしてくる。

ヨーロッパ
広すぎ〜!